令和6年度 全国学力・学習状況調査神奈川県立中等教育学校の調査結果について

令和6年4月18日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、県立中等教育学校前期課程3年生の生徒の学習及び生活の概況をお知らせします。

今回の分析結果を踏まえ、今後は、各学校と協働しながら学力向上と教育課程や学習指導の充実・改善を図っていきたいと考えております。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査内容

① 教科に関する調査（国語、数学）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

(3) 調査結果の見方

調査結果は、県立中等教育学校全体の結果である。序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の結果の公表は行わない。

2 教科に関する調査の分析・改善に向けて

【平均正答率】 (単位：%)

	国語	数学
県立中等教育学校	85.3	86.3
神奈川県（公立）	59	54
全 国	58.1	52.5

(文部科学省からデータ提供されたものより作成)

(1) 国語に関する調査結果

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」の各内容について全国の結果と比較すると、すべての領域において平均正答率が高くなっている。

《課題があった内容》

- ◆ [1]三「話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する」では、他の問題に比べ、やや正答率が低かった。
- ◆ [2]一「本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する」では、他の問題に比べ、やや正答率が低かった。

《改善に向けて》

- [1]三について
原因と結果、意見と根拠など、話や文章に含まれている情報と情報との関係について理解を深められるように、意見とそれを支える根拠がどのように結び付いているかを捉えたり、整理したりすることができるように指導していく。
- [2]一について
「読むこと」において、図表などを含む説明的な文章では、示されている図表などが、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ることができるように指導していく。

(2) 数学に関する調査結果

「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域について、全国の結果と比較すると、すべての領域において平均正答率が高くなっている。

《課題があった内容》

- ◆ [7] (2) 「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるか」では、他の問題に比べ正答率が低かった。
- ◆ [8] (2) 「事象を数学的に解釈し、問題の解決方法を数学的に説明することができるかどうかをみる」では、他の問題に比べ正答率が低かった。

《改善に向けて》

- 日々の事象を題材とした問題などを取り上げ、データを収集、整理し、四分位範囲を求めたり、箱ひげ図で表したりして複数の集団のデータを比較して読み取り、その結果を基に説明する場面を設定し、指導していく。また、具体的な事象について表、式、グラフを相互に関連付けて捉え考察し表現する場面を設定し、指導していく。

3 質問紙に関する調査の分析・改善に向けて

《良好であった内容》

- ◇ 「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に、「発表していた」、「どちらかといえば、発表していた」と回答した生徒の割合は、全国平均と比べ

て高かった。

- ◇ 「国語の勉強は大切だと思いますか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比べて増加した。

《課題があった内容》

- ◆ 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」の質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均と比べて低かった。

《改善に向けて》

- 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」の質問に対する肯定的回答の割合は低いですが、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることはできていますか」の質問に対する肯定的回答は良好であった。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や総合的な学習の時間、学級活動の取組において、努力すべき課題設定ができるように指導していく。